

1年 道徳学習指導案

平成28年12月13日(火)

指導者

- 1 主題名 内容項目名 よりよく生きる喜び (内容項目番号 D-22)
(資料名「二人の弟子」 出典「私たちの道徳」)

2 主題設定の理由

(1) 価値について

内容項目 D- (22) は「人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見出すこと」をねらいとしている。

人間は誰でも弱さや醜さを持っており、その場の損得に目を奪われたり、様々な誘惑に負けて、安易な行動に走ることがある。しかし、人間はみな良心を持っており、自らの行為を振り返り、悩み、苦しむことになる。良心の呵責にさいなまれ、自己を見つめることを通して、人間として強く生き、気高く生きる心の大切さを自覚するものである。良心に従って人間らしい生き方をしていくことは人間としての誇りを感じることとなる。より高い人生を目指して胸を張って歩むことは、人間として生きていく喜びを見いだすことにつながる。

中学生の時期は自分の行動に自信が持てず、人をうらやんだり、妬んだり、恨んだりすることがある。時に人間関係の崩れから「いじめ」のように、身近な友達に心の弱さや醜さを表わすこともある。しかし、成長とともにより高い人生を送りたいと願い、自分の弱さを克服して人間の持つ強さや気高さを追求する気持ちが強くなる。人は誰でもよりよく生きようとしており、自らの弱さを克服することで、人間として生きる喜びを実感することができる。

中学校生活をする中では学年始めに目標としたことが自分の思い通りにいかないことが出てくる。そのことから生徒は劣等感をさいなまれ、自分の弱さに負けそうになることがある。自分だけが弱さや醜さを持っているのではなく、誰でもが自分に自信を持てず、悩んだり苦しんだりしていることに気付かせたい。その上で自己の良心にしたがって悪を退け、自らに恥じることのない強く気高い生き方をすることの大切さを考えさせたい。

以上のことから、自分に自信を持ち、より高い人生を目指すことから人間として生きる喜びを見いだすことの大切さを理解させることをねらって本主題を設定した。

(2) 生徒の実態について (21人)

中学生としての生活習慣が身に付き、落ち着いた生活ができる。着実に自分のことを成し遂げることのできる生徒もいる。幼い面があっても集中できない生徒も指示のとおり素直に取り組もうとする。自分の考えをまとめることのできる生徒もいるが、書くことを苦手とする生徒もいる。

本時を扱う前に行った事前調査の結果は以下のとおりである。

- ① 今夢中で取り組んでいるものがありますか。 はい20人、いいえ1人

◎それはどんなことですか。

部活動、ゲーム(各6人)、野球、勉強(各3人)等

- ② あなたは自分でやろうと決めただけで、途中でやめてしまった経験はあ

りますか。

はい15人、いいえ6人

◎それはどんなことですか。

勉強（6人）、ピアノ（3人）、テスト勉強、習い事（各2人）等

◎なぜ途中でやめたのですか。

面倒くさかったから（4人）、時間がなかったから、難しかったから、できなかったから、つらかったから（各2人）等

◎途中でやめてしまったことをどう思っていますか。

後悔した、最後までやれば良かった、頑張れば良かった、（各3人）良くなかった、やめて良かった（各2人）等

③ [場面調査]野球部にいる清君は野球がうまくありません。野球部の夏の苦しい練習を無断で休んでいた清君が二学期になったら、「もう一度野球部で活動したい」と相談に来ました。あなたはどうしますか。

参加して良い（11人）、話を聞く（3人）、ダメと言う（2人）等

◎理由 やりたいと思ったから（5人）、頑張ってもらいたい（4人）、辛いのを逃げたから（3人）、ずるいから（2人）等

④ [場面調査]普段はとても厳しい監督の山田先生は、清君が野球部に戻ってくることを簡単に認めました。あなたはどんな気持ちになりますか。

うれしい気持ち（5人）、いいと思う、いい気持ち（各3人）、安心する、なぜ認めるのかという気持ち、腹が立つ（各2人）等

◎理由 もう一度やりたい（4人）、一緒にやれるから（3人）、優しいから、認めてくれたから（2人）等

⑤ 部活動や勉強、手伝いなど苦しいことやつらいことを乗り越えて物事をやり遂げた時にどんな気持ちになりますか。

うれしい気持ち（12人）、達成感がある、良かった（各6人）等

◎理由 やり遂げたから（11人）、成果が出たから（3人）、気持ちが良いから、努力したから、あきらめなかったから（各2人）

事前調査の結果を見ると、夢中になっているものとして部活動やゲーム（各6人）が多いが、勉強（3人）を挙げている生徒もいる。途中でやめてしまったものとして、勉強（6人）やテスト勉強（2人）が多く、次にピアノ（3人）や習い事（2人）を挙げている。場面調査では、友達が野球を続けることを認める生徒が多く、厳しい先生が友達が部に復帰することを認めることを許容する生徒が多い。しかし、少数ながら、辛いのを逃げた（3人）ことをずるい（2人）と捉え、先生に対しても疑問（2人）を持ち、腹を立てる（2人）生徒もいる。全員が物事をやり遂げたことがあり、うれしい気持ち（12人）や達成感を味わった経験を持っている。

こうした生徒の経験を踏まえて、資料の主人公の気持ちを考えさせたい。主人公の友を許す気持ちと許せない気持ちが自分の心の中にもあることを捉えさせ、人間としてどう生きていくかを考えさせていきたい。

（3）資料について

智行は京都の本山で必死の思いで厳しい修行に励んでいた。一緒に修行をしていた道信は心の弱さから本山を出奔してしまい、身を崩し生きる意欲すら無くすほどの苦難の時を過ごす。道信が寺に戻って修行をやり直したいと上人様に願い出ると、上人様は道信の手をとってその願いを認める。

智行は修行を途中で放り出して逃げた道信が再び弟子となることを許せないことを上人様に伝える。上人様は「人は皆、自分自身と向き合って生き

ていかねばならないのだ。」と語る。智行は納得がいかなかったが、月夜に池のほとりで咲く一輪の白ゆりの輝きに圧倒され、涙を流す。

二人の弟子の姿から人間の持つ弱さや醜さを見つめ、人間として強く、気高く生きることについて考えることのできる資料である。

3 ねらい

智行の心情を考えることを通して、人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだすように努める心情を養う。

4 展開

学習活動と主たる発問	予想される生徒の反応	時配	支援の手立て・留意点
<p>1 資料の『二人の弟子』に関わる内容を話し合う。</p> <p>① 自分がやろうとしたことを途中でやめた事がありますか。</p> <p>② 途中でなぜやめたのですか。</p> <p>2 資料『二人の弟子』を読み進めながら、途中で区切って、主人公の気持ちを話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強，テスト勉強，習い事（ピアノ・書道） ・面倒くさかった（4人），時間がなかった，難しかった，できなかった，つらかった（各2人）等 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・資料に入る雰囲気をつくる。 ・勉強や習い事等の長続きしなかったことについて触れる。 ・途中でやめたのは，理由があることを確認する。 ・資料『二人の弟子』を読み進めて場面ごとに切り，智行の気持ちを考えていく。
<p>智行の気持ちを通して，人としてどのように生きたらよいかを考えよう。</p>			
<p>① 智行は道信が本山から逃げ出したときにどう考えただろう。</p> <p>② 道信が「もう一度修行をやり直したい」と言った時に智行はどんなことを考えただろう。理由も含めてプリントに書きましよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一緒に修行してきたのに，裏切られた。 ・修行に耐えられず，しょうがない人だ。 ・自分は苦しい修行を乗り越えて力をつけよう。 ・もう一度修行させたい。色々な経験をして戻ってきたのだから。 ・ずるい。期待を裏切ったのだから。 ・恥ずかしい。今さら戻りたいなんて。 ・許されるはずがない。途中で逃げ出したから。 	6 1 3	<ul style="list-style-type: none"> ・裏切られた気持ち，あきらめの気持ち，自分自身の思いについて整理する。 ・期待を裏切って逃げ出したのだから，許されないという意見と，様々な経験を経てきたのだから，寺に戻りたいという意見を扱うようにする。

<p>③ 上人様が再び道信を弟子にした時、智行はどのようなことを考えただろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道信が許されたことが納得いかない。 ・修行から逃げ出した人間を再び弟子にとるのはおかしい。 ・自分は厳しい教えを守っているのに道信が許されるのは嫌だ。 ・もっと厳しい処分が必要だ。 	7	<ul style="list-style-type: none"> ・智行が自分の修行の厳しさを振り返り、道信が許されたことに納得がいけないことを捉えさせる。
<p>④ 「人は皆、自分自身と向き合って生きていかねばならないのだ。」と言う上人様の言葉を聞いて、月の光の中にいつまで立ち尽くしていた智行は何を考えていたのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道信を受け入れることのできない自分の弱さに気づき、どうしようもない気持ちになっている。 ・修行を続けてきたのに、自分の醜い心と向き合えず情けない。 ・白ゆりの気高い輝きに自分の弱さを感じた。 ・道信は苦勞を重ねて強く生きようとしていることに気づいた。 ・自らの弱さに向き合い、より強く生きることが必要だと考えた。 	7	<ul style="list-style-type: none"> ・智行は苦しい修行に耐えてきたが、自分の弱さや醜さに向き合うことができず、道信を優しく受け入れることができないことを捉え、上人様の強く気高い生き方を理解できるようにする。
<p>3 『二人の弟子』を学習して、自分を振り返り、どのように生きたいと考えたかをプリントにまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分も他の人を許せないような弱さがあることに気づいた。 ・自分が苦しいことを耐えているのに、周りの人がサボっていたら、嫌な気持ちになってなかなか許せない。 ・頭ではいけないとわかっているけどもできないことがあるが、もっと優しい気持ちが持てるようにしたい。 	1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント ◇自分にも智行と同じような弱さや醜さがあるが、そうした気持ちを克服して強く生きることの大切さをまとめることができたか。
<p>5 自己評価の欄を記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の授業の取組を振り返って記入する。 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・5段階で自己評価し理由を記入する。